

主任検察官

加削一字

被疑事実の要旨

刑事訴訟法六〇条一項各号に定める事由

別紙記載のとおり

- 左の各号中ニ、三 号
- 一 被疑者が定まった住居を有しない。
  - 二 被疑者が罪証を隠滅すると疑うに足りる相当な理由がある。
  - 三 被疑者が逃亡し、又は逃亡すると疑うに足りる相当な理由がある。

期間の延長

延長期間

理

由

勾留状を検察官に  
交付した年月日

勾留状を被疑者に示  
した年月日時及び取  
扱者官職氏名印

平成四年四月三日まで

平成四年四月三日

(庁名) 金沢簡易裁判所

裁判官 大西 貞 夫

被疑者が意図不明に逃走し、  
本件、身証不明なり。関係者、  
被疑者及び被疑者の着衣や車内、  
血痕等につき、鑑定を待たぬ。

裁判所書記官  
菩提寺信雄

平成四年四月三日 午後二時二十六分  
金沢西警察署  
司警 田中賢

平成 年 月 日まで

平成 年 月 日

(庁名)

裁判官

平成 年 月 日 平成 年 月 日  
裁判所書記官  
午 時 分